

令和4年度
企業の求人及び生徒の内定状況について

令和5年3月
北海道立北の森づくり専門学院

目 次

1. 趣旨

2. 求人

- (1) 地 域
- (2) 業 種
- (3) 初 任 給
- (4) 休 日
- (5) 従業員数

3. 内定

- (1) 地 域
- (2) 業 種
- (3) 初 任 給
- (4) 休 日
- (5) 従業員数

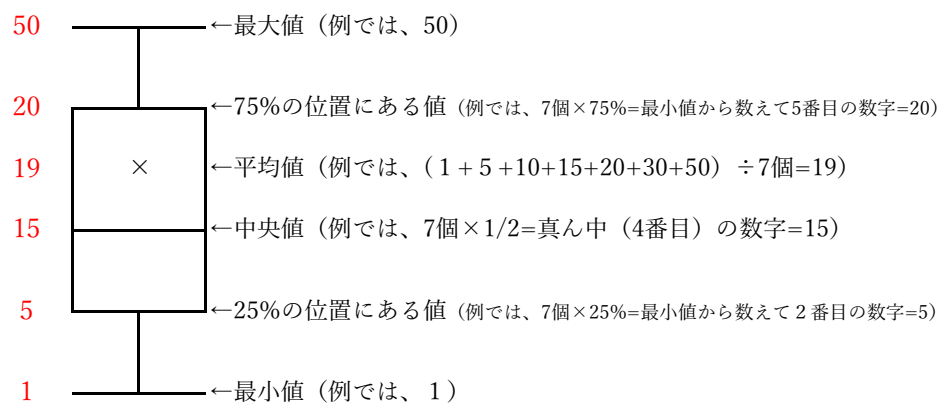
4. 就職に関するアンケート調査

- (1) 目的等
- (2) 調査結果

【参考】「箱ひげ図」の見方について

「2. 求人」「(3) 初任給」(5ページ目)及び「3. 内定」「(3) 初任給」(7ページ目)について、グラフ「箱ひげ図」を利用していますので、見方を簡単に説明します。

(例) 左の数値は、1、5、10、15、20、30、50の7個の数字で箱ひげ図を作った場合の数値。



1. 趣旨

本資料は、学院が行っている無料職業紹介事業の結果等を基に、企業の求職及び生徒の内定状況を集計するとともに、生徒へのアンケート調査により生徒が就職先の決定に当たってどのような点を重視しているのかを明らかにすることにより、企業と生徒とのマッチングの促進や企業の職場環境の改善等に資するために取りまとめたものである。

2. 求人

(1) 地域

- ・道内の林業・木材産業関連企業のうち、学院に求人票を提出したのは96社で求人数は177人となっており、令和4年度求職者数（生徒）32名の5倍を超える。
- ・求人企業数、求人数ともに、学院キャンパスのある上川地域が最も多い。次いで、求人企業数は十勝、オホーツク地域、求人数は十勝、オホーツク地域、石狩地域の順で多くなっている。

■地域別求人企業数

(単位：社)

区 分	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホ	十勝	釧路	根室	計
林業事業体	5	3	1	1	3	3	1	12		1	8	8	3	1	50
木材産業						1		1			2	3	1		8
森林組合	2	2	1		2	2		5			2	4	2	2	24
その他		6	1		2			2			1		1	1	14
合 計	7	11	3	1	7	6	1	20		1	13	15	7	4	96

■地域別求人件数

(単位：件)

区 分	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホ	十勝	釧路	根室	計
林業事業体	現場管理・事務	1			1		1	1			2	1		1	8
	作業員	4	3	1	1	3	3	1	10	1	6	7	3		43
	種苗生産	1						1			1				3
計	6	3	1	1	4	3	2	12		1	9	8	3	1	54
木材産業	現場管理・事務										2	1			3
	作業員					1		1			1	2	1		6
計						1		1			3	3	1		9
森林組合	総合職・事務職	2	1			1	2	2			2	2	1	1	14
	技術職員		1	1		2	2	4				3	1	1	15
計	2	2	1		3	4		6			2	5	2	2	29
その他		6	1		2			3			1		1	1	15
合 計	8	11	3	1	9	8	2	22		1	15	16	7	4	107

※ 一部企業等から異なる区分で複数の求人の提出があるため、企業数と件数は一致しない。

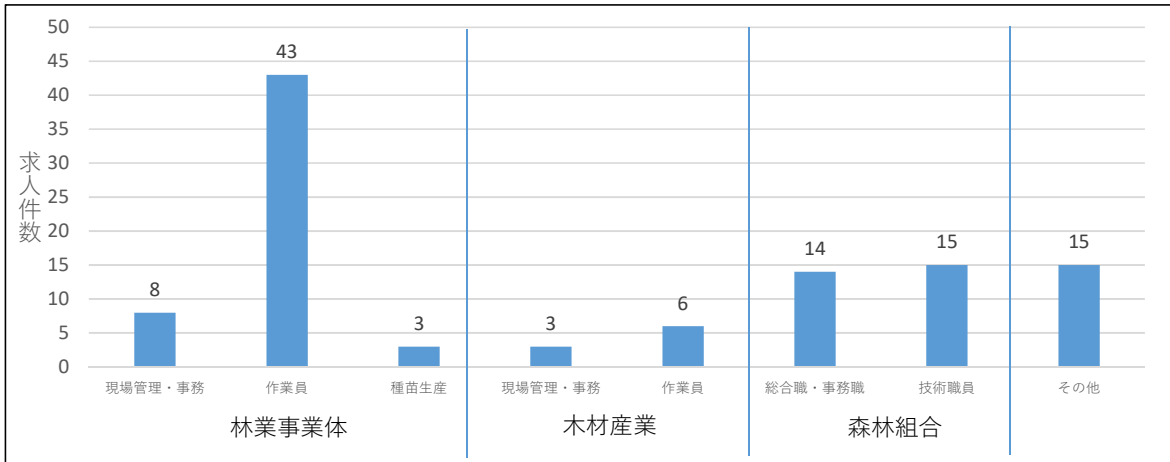
■地域別求人人数

(単位：人)

区 分	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホ	十勝	釧路	根室	計
林業事業体	現場管理・事務	1			2		1	1			3	2		1	11
	作業員	7	6	3	2	5	5	3	17	2	14	13	5		82
	種苗生産	1						2			2				5
計	9	6	3	2	7	5	4	20		2	19	15	5	1	98
木材産業	現場管理・事務										2	2			4
	作業員					2		1			1	4	1		9
計						2		1			3	6	1		13
森林組合	総合職・事務職	3	3			1	2	3			2	4	1	1	20
	技術職員		2	1		4	3	4				4	1	2	21
計	3	5	1		5	5		7			2	8	2	3	41
その他		14	1		2			4			1		1	2	25
合 計	12	25	5	2	14	12	4	32		2	25	29	9	6	177

(2) 業種

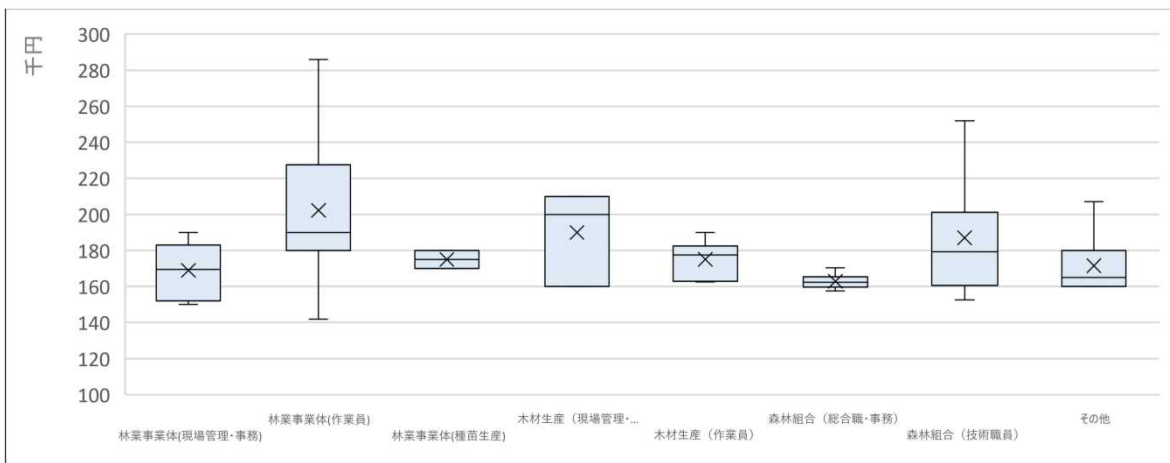
・求人票の業種は、林業事業体の作業員が最も多く全体の4割となっている。また、大きな区分で見ると、林業事業体が最も多く5割、次いで森林組合が2割となっている。



(3) 初任給

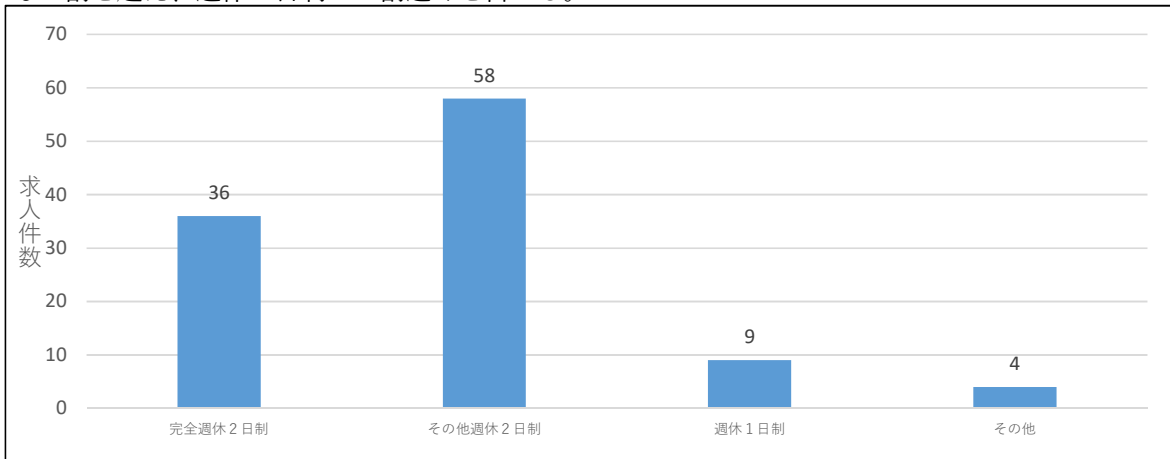
- ・初任給（平均）は、林業事業体（作業員）が高く、森林組合（総合職・事務職）や林業事業体（現場管理・事務）が低い傾向にある。
- ・林業事業体（作業員）と森林組合（技術職員）の初任給は、企業間で差が大きい。

※グラフは「箱ひげ図」で「×」は平均、縦棒は数値の範囲を表す。見方は目次の下を参照。



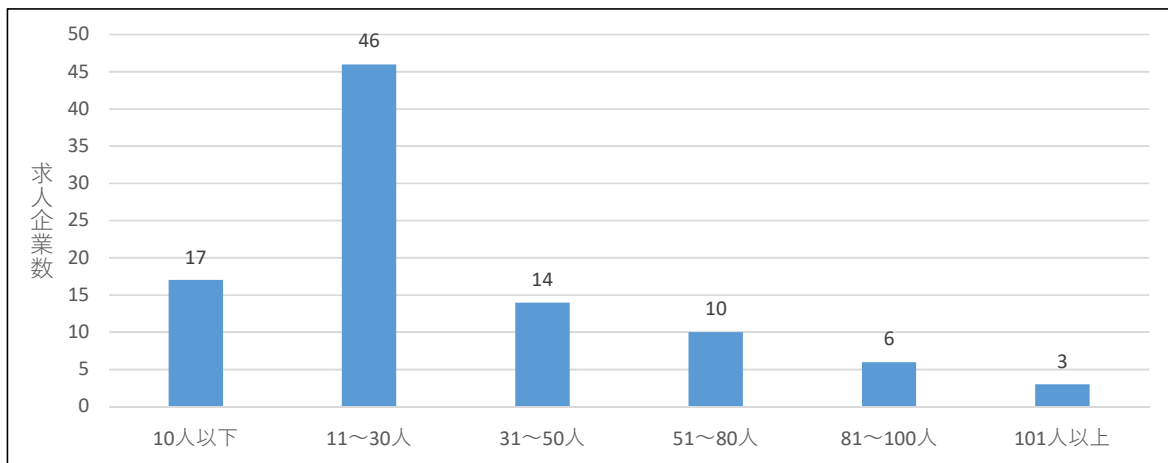
(4) 休日

・土曜日が隔週休日など、その他週休2日制が最も多く5割以上となっているが、完全週休2日制も3割を超え、週休1日制が9割近くを占める。



(5) 従業員数

- ・従業員数が50人以下の企業が全体の8割を占め、11～30人の企業が最も多い。



3 内定

学院の就職支援活動により内定した生徒の内訳について示す。

(1) 地域

- ・就職先は、学院キャンパスのある上川管内が最も多く、十勝、渡島の順に多い。

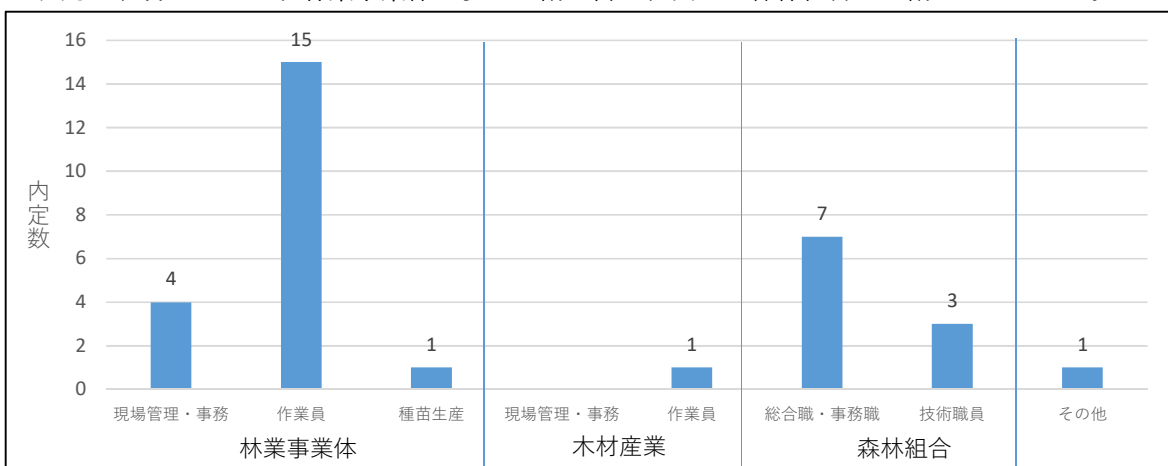
■地域別内定者数

区分	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホ	十勝	釧路	根室	計
内定者数	3	2	-	-	3	4	2	9	-	-	3	5	1	-	32

(2) 業種

・内定先は、林業事業体（作業員）が全体の4割を占め最も多く、次いで森林組合（総合職・事務職）が2割を占めている。

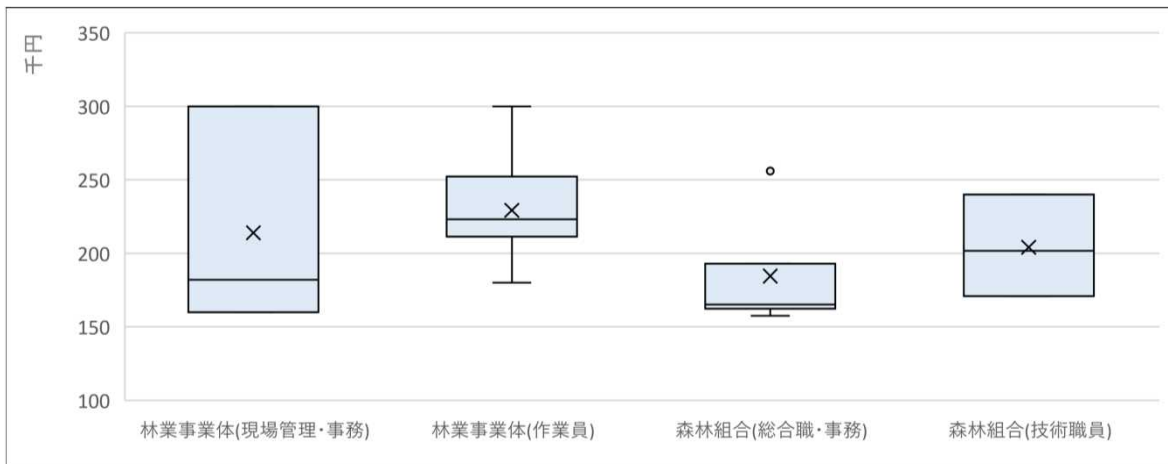
- ・大きな区分としては、林業事業体が多く6割を占め、次いで森林組合が3割となっている。



(3) 初任給

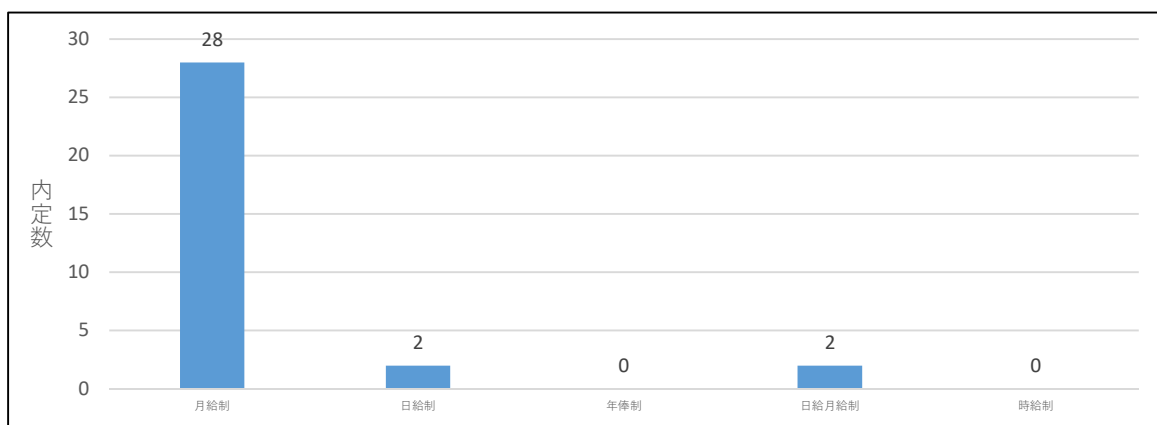
・内定先の平均初任給は、林業事業体（作業員）が高い傾向にあり、森林組合（総合職・事務職）が低い傾向にある。なお、種苗生産、木材生産、その他は内定先が各1社ずつしかいないため、グラフから除外している。

※グラフは「箱ひげ図」で「×」は平均、縦棒は数値の範囲を表す。見方は目次の下を参照。



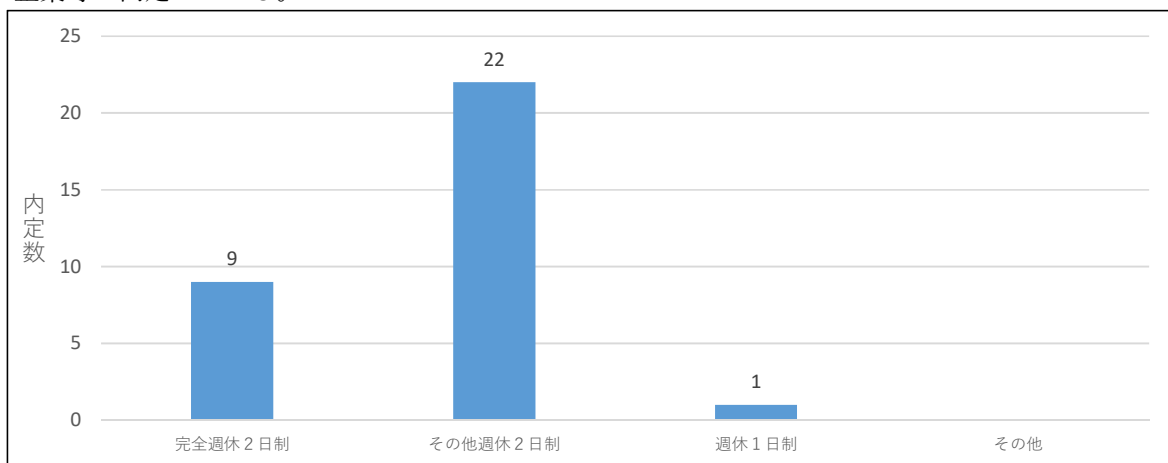
(4) 給与形態

・内定先の給与形態は、9割近くが月給制となっている。



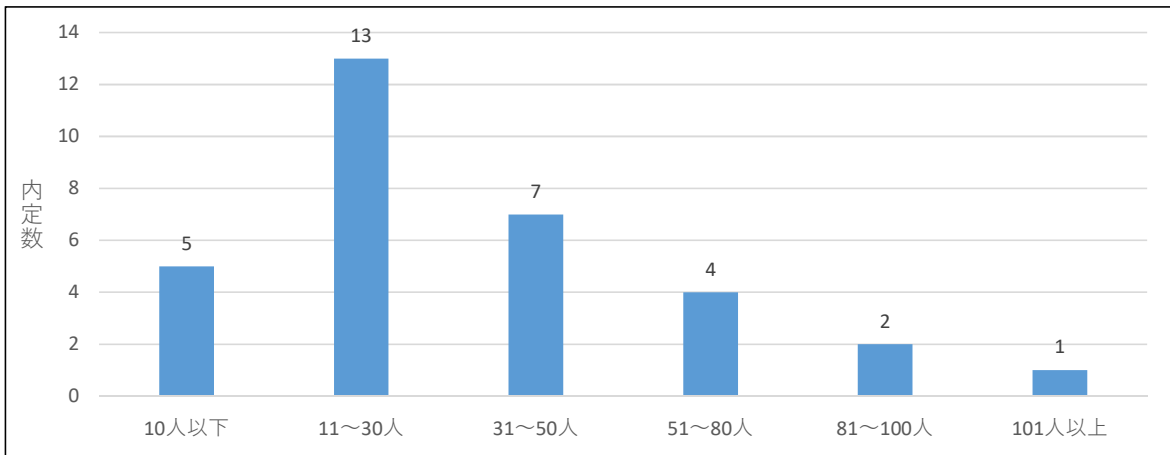
(5) 休日

・内定先の休日は、その他週休2日制が6割、完全週休2日制が3割と、ほぼ全員が週休2日制の企業等に内定している。



(6) 従業員数

・内定先の企業は、従業員数が50人以下が全体の7割を占め、11~30人の企業が最も多い。



4 就職に関するアンケート調査

(1) 目的等

生徒が就職活動を行う際、どのような観点で就職先を選定しているかを明らかにし、当学院における今後の就職支援活動に活かすとともに、調査結果を道内の林業・木材産業関連企業等に提供することにより、企業等における人材の確保や労働条件の改善等に資する。

■調査対象者：第2期生36人 ■調査実施日：令和5年2月

■調査方法：記名式アンケート調査

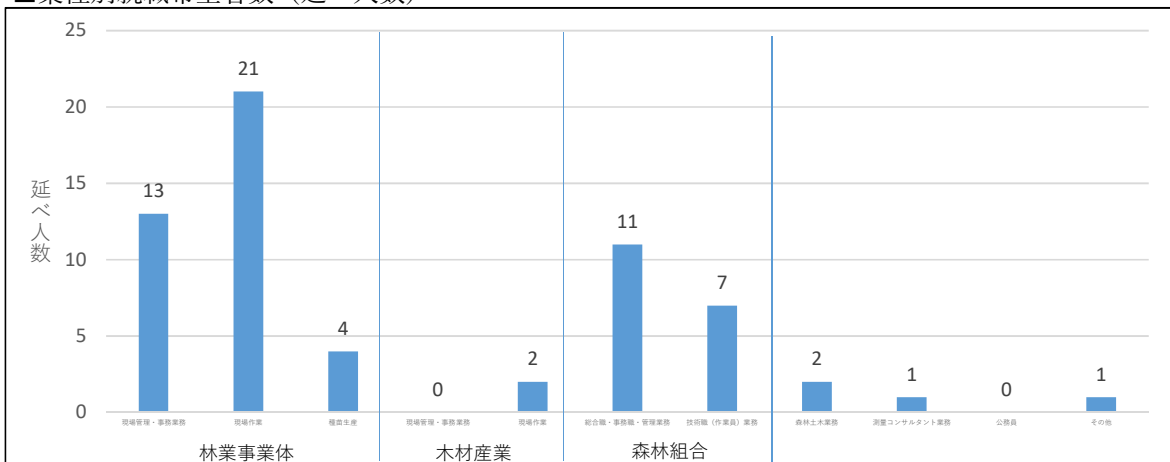
※企業内定後に生徒のマインドを調査したものであることに留意。

(2) 調査結果

問1 希望していた業種はどれですか。【3つまで選択可】

・林業事業体の現場作業を希望する生徒が最も多く3割を超え、森林組合の作業員業務を含めると、現場作業を希望する生徒は4割を超える。次いで、林業事業体の現場管理・事務業務が多く、2割を超え、森林組合の総合職・事務・管理業務を含めると3割を超える。

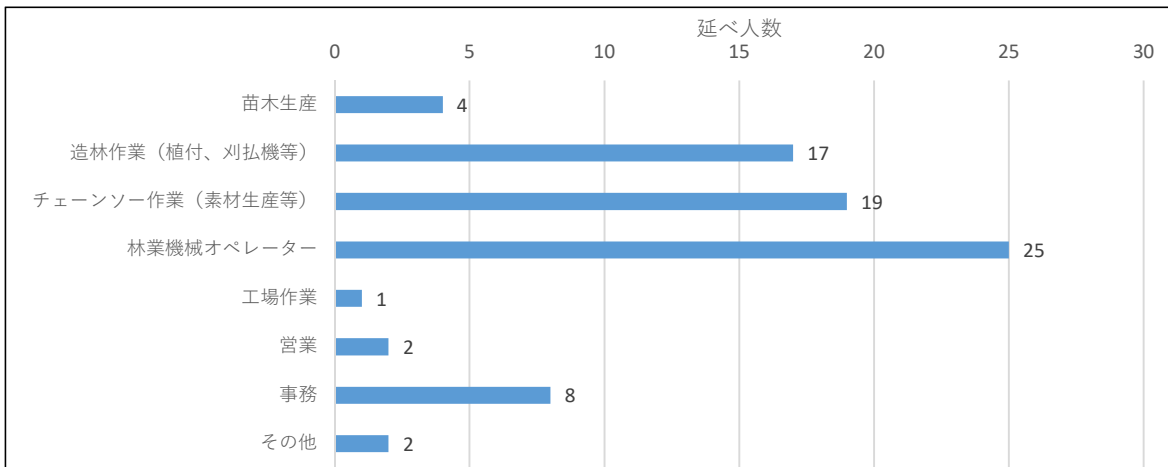
■業種別就職希望者数(延べ人数)



問2 希望していた業務内容はどれですか。【3つまで選択可】

- ・ 林業機械オペレーターを希望する生徒が最も多く、次いでチェーンソー作業が多い。
- ・ 現場作業（苗木・造林・チェーンソー・林業機械）を希望する生徒が多く、8割を超えている。

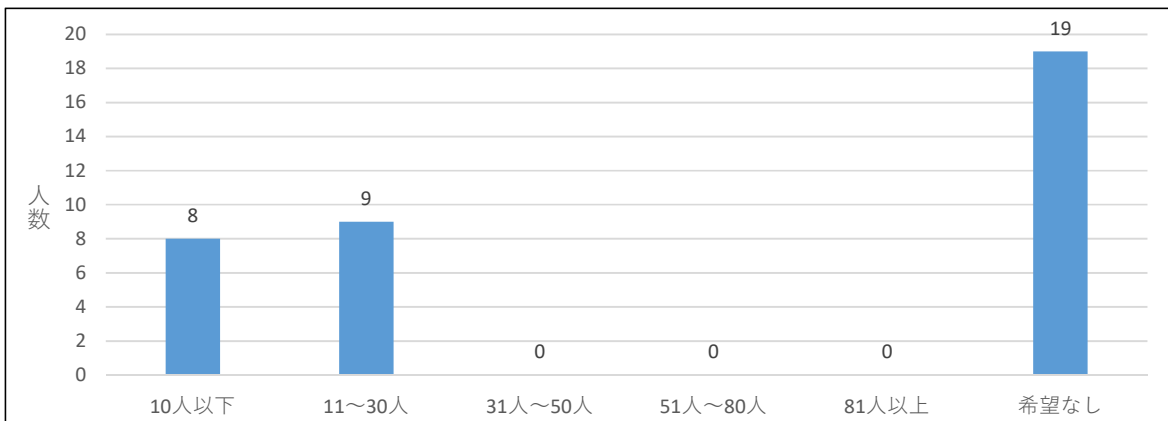
■業務内容別就職希望者数（延べ人数）



問3 どのくらいの従業員数の会社を希望していましたか。

- ・ 企業の規模を気にする生徒は少なく、また、大企業への就職希望はいなかった。

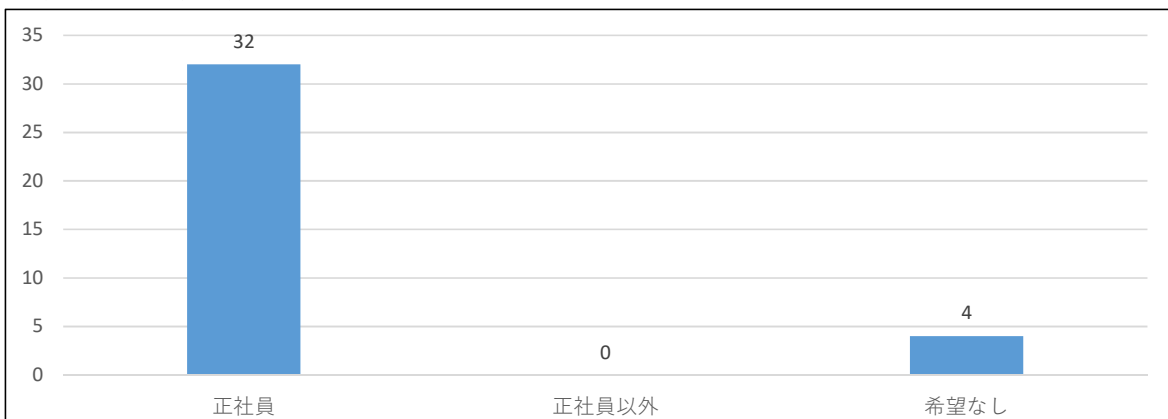
■従業員数別就職希望者数



問4 希望していた雇用形態はどれですか。

- ・ 生徒の9割近くは、正社員としての採用を希望している。

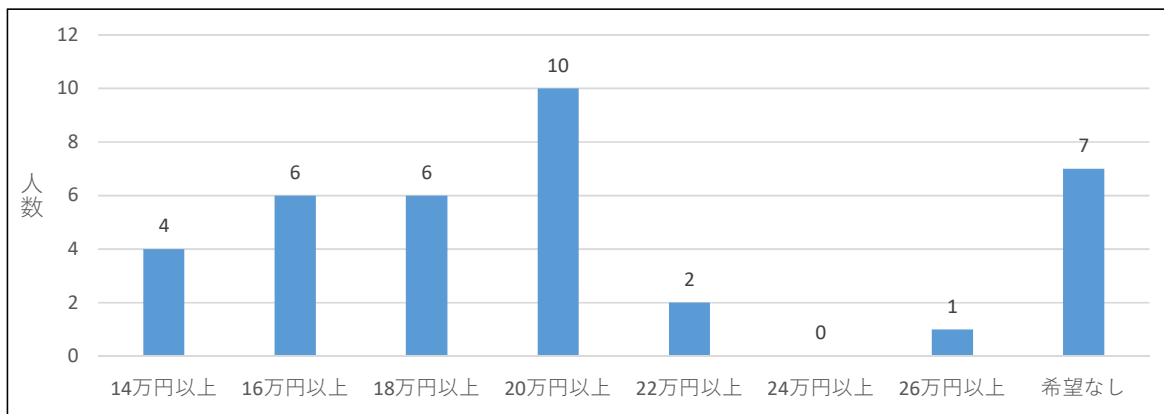
■雇用形態別希望者数



問5 初任給は最低どのくらいを希望していましたか。

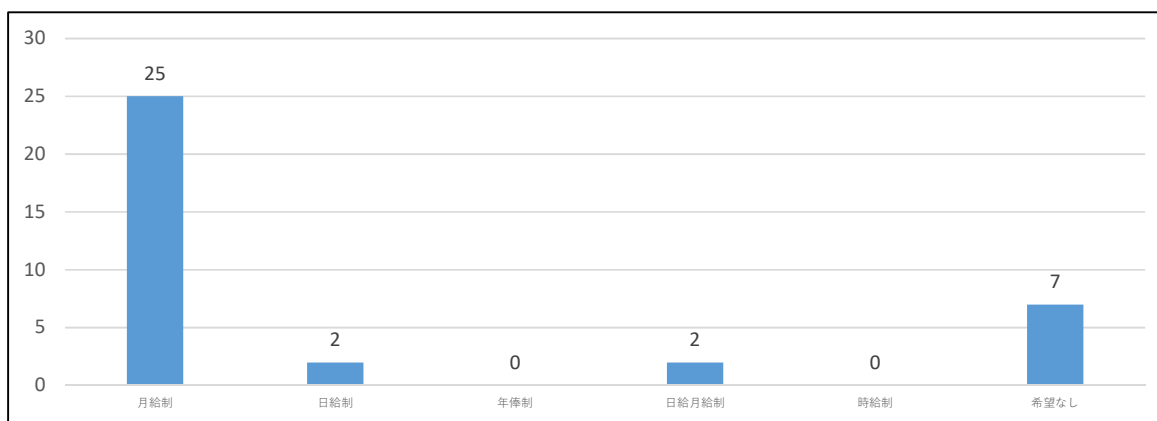
- ・初任給20万円以上を希望する生徒が最も多い。
- ・その一方、最も低い選択肢である14万円以上と希望なしを選択する生徒が3割おり、給与にこだわりのない生徒が一定数いる。

■初任給金額別希望者数



問6 給与形態に希望はありましたか。

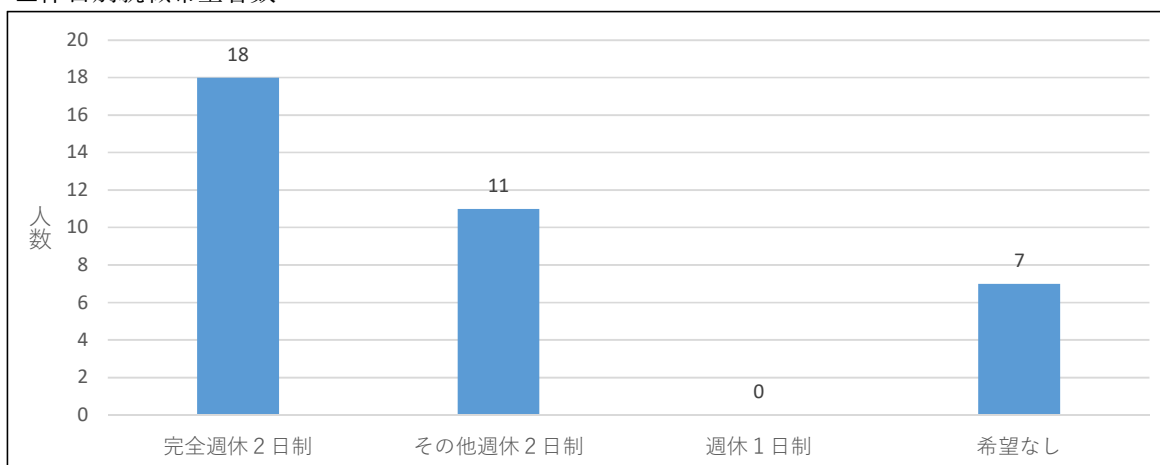
- ・月給制を希望する生徒が全体の7割を占める。



問7 週休日は、最低どのくらいを希望していましたか。

- ・完全週休2日制を希望する生徒が最も多く全体の5割を占める。

■休日別就職希望者数

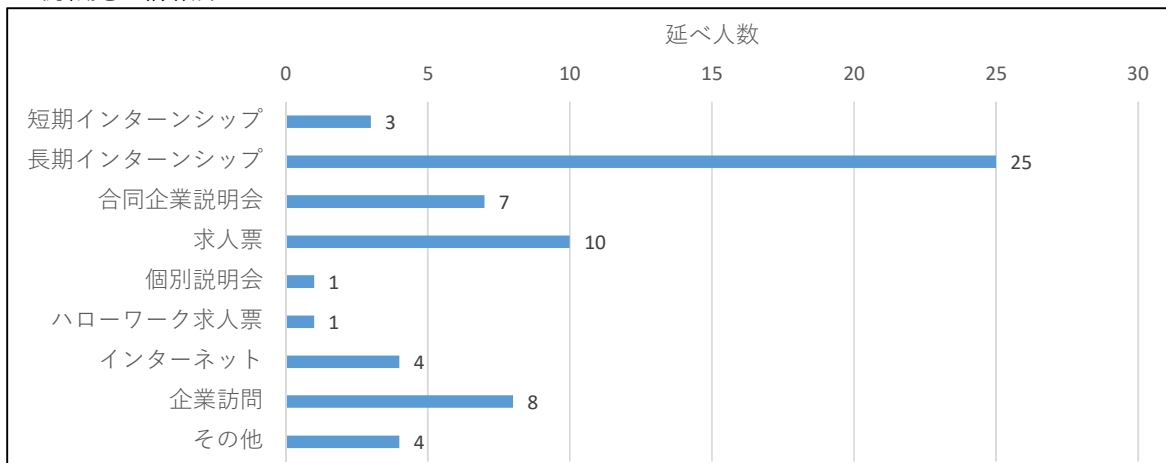


問8 就職先を選んだきっかけは何ですか。【3つまで選択可】

・長期インターンシップ先を選んだ生徒が最も多いが、併せて、合同企業説明会や求人票を選択することが多く、インターンシップの経験が重要ではあるが、他の各種情報もきっかけの一助となっている。

・他の調査結果から、生徒の9割が短期・長期のインターンシップ先の企業を就職先に選定していることが明らかになっている。

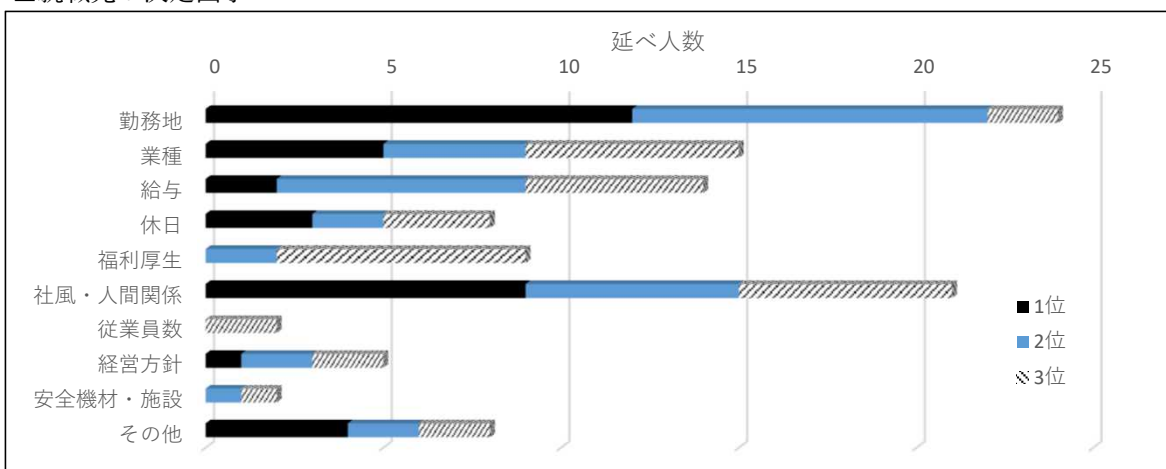
■就職先の情報源



問9 就職を決めた理由は何ですか。【優先する順に3つまで選択可】

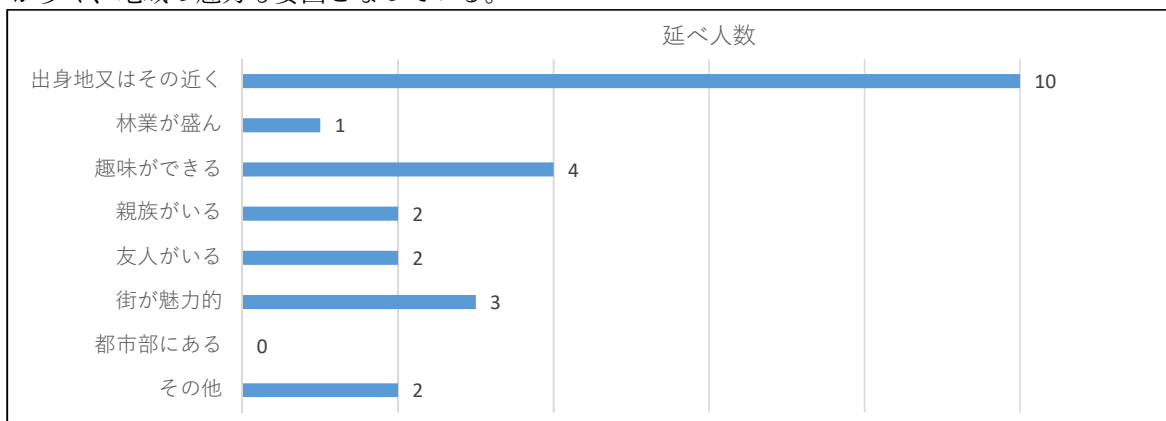
・勤務地、社風・人間関係、業種、給与の順で就職先を決める生徒が多く、昨年と同様の結果となった。

■就職先の決定因子



(問9 関連) 問9で勤務地を選択した理由は何ですか。【2つまで選択可】

・勤務地を選択する理由は、出身地近くである生徒が多いが、次いで、趣味ができる、街が魅力的が多く、地域の魅力も要因となっている。



問10 就職活動で、個別に訪問した企業数を教えてください。

・生徒の4割が1社以上の企業を個別訪問しているが、長期インターンシップの3回目がコロナにより一部生徒の中止となった影響でインターンシップ予定先に企業訪問している事例も含まれている。

・インターンシップで就職を決められなかった生徒が、企業を個別訪問している事例が多い。

